

基礎目標	社会的に自立した人を育てる					第1四半期
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合(小・中)	%	84.3	85.5	—	—
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	74.0	71.5(R3)	+5.3
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	88.5	—	—
	②チャレンジ精神を持つ子供の割合	%	81.5	82.5	—	—
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	70	—	—
	②体育施設利用者数(延べ人数)	人	124,180	125,000	26,000	△10,000
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	4	1	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	56.5	62.8(R3)	+6.4

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業や子育て支援事業の中で、感染対策をしながら育脳プログラムの普及啓発や手遊びを実施した。</p> <p>①5月・6月にHyper-QUを全小中学校で実施し、学級の実態を理解する情報を得た。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが全小中学校を巡回するとともに、要請により保護者及び家庭との相談を行った。</p> <p>①1人1台タブレットPCの実施状況を確認し、効果的な活用について助言指導を行った。</p> <p>①学力向上コーディネーター派遣事業を実施し、七井小中・田野小中で学力向上を図っている。</p> <p>①全国学力調査・とちぎっ子学力調査・町独自の学力テストの実施(4/19)。</p> <p>②各・小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として挨拶運動を実施した。</p> <p>②小学4年生・小学5年生・中学1・2年生の宿泊はコロナ感染防止のため、一部、日帰りを実施した。</p> <p>2 ①移動図書館のお披露目式には約100人が参加した。5月末から小中学校・幼稚園・保育園・道の駅・北公園等へ運行を開始した。読み聞かせは3カ所で計27名の参加であった。</p> <p>①中学生への英検3級以上の補助金は申請合計が38件であった。(昨年同時期62件)</p> <p>②体育施設の利用者は6月までに約26,000名だった。前年よりは10,000名少ない状況である。</p> <p>②「ましこチャレンジクラブ」への参加者は328名で、前年同期比-49名である。</p> <p>3 ①「学校運営協議会」の説明を町校長会で行った。準備のための打合せを、田野中・七井中・七井小で行った。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブの会員が昨年より2名増加し6名となった。</p> <p>②「ましこ未来大学」については、益子芳星高校2年生38名参加で、4月27日に開校した。</p>	<p>1 ①引き続き、事業の充実に努め、保護者の思いに寄り添い、安心した子育てができるような地域づくりに努めていく。</p> <p>①8月にHyper-QU研修を行い、実態分析を行い、よりよい学級作りへの支援をしていく。</p> <p>①健康福祉課主催のケース会議にSSW rも出席し、今後も適宜、連携を深めていく。</p> <p>①授業においてタブレットPCが効果的に活用できるよう今後も助言や支援をしていく。</p> <p>①学力向上実践校4校に対し、各校の学力向上改善プランや授業作りの助言をしていく。</p> <p>①7月・8月に、結果の確認ができるので、分析して、学校ごとに対策を立て、実践をする。</p> <p>②コロナ禍でもできることを考えて、児童生徒の成長につながる活動を実施していく。</p> <p>②宿泊ができない場合であっても、子ども主体の活動にすることで成果を上げる工夫をした。</p> <p>2 ①移動図書館車に対して親子連れの関心は高く、『とつくん号』の今後の活用を目指していく。</p> <p>読み聞かせや図書イベントは、読書活動の推進や図書室利用促進に寄与しており、継続していく。</p> <p>①英語教育の充実のため、今後も中学生の英検3級以上受験を呼びかけていく。</p> <p>②今後も、コロナ対応・熱中症対策をしながら、運動の機会を増やすよう呼びかけていきたい。</p> <p>②チャレンジクラブについて、6月下旬のお知らせ版により随時、会員を募集していく。</p> <p>3 ①学校運営協議会の準備段階として、3校に説明と打合せを行い、準備委員会の設置に向けて方向性を検討していただく。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブの会員はまだ少ないため、PRをして募集していく。</p> <p>②ましこ未来大学は、将来の担い手を育成する事業であり、今年度も積極的な参加態度で臨んでおり、成果が期待できる。</p>

基礎目標	社会的に自立した人を育てる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合(小・中)	%	84.3	85.5	—	—
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	74.0	71.5(R3)	+5.3
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	88.5	—	—
	②チャレンジ精神を持つ子供の割合	%	81.5	82.5	—	—
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	70	—	—
	②体育施設利用者数(延べ人数)	人	124,180	125,000	62,700	+2,700
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	4	1	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	56.5	62.8(R3)	+6.4

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業や子育て支援事業の中で、感染対策をしながら育脳プログラムの普及啓発や手遊びを実施した。</p> <p>①8月にHyper-QU研修会を行い15名が参加し、検査結果の見方や児童生徒支援の仕方を確認した。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが全小中学校を巡回するとともに、要請により保護者及び家庭との相談・支援を行った。健康福祉課主催のケース会議に出席し、協議において情報共有した。</p> <p>①1人1台タブレットPCを授業や家庭学習で効果的に利用できるアプリケーション導入に向けて、AIドリル・授業のモデル校(七井小・七井中)における実証事業を開始した。</p> <p>①学力向上検討委員会で、学力向上改善プランの作成に関する研修会を行い、とちぎっ子学力調査結果の分析の仕方、改善プラン作成の仕方を確認した。</p> <p>②各・小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として挨拶運動を実施した。</p> <p>②小学校2校・中学校2校の運動会はコロナ禍であるが、保護者参加で行い、好評価を得た。</p> <p>2 ①移動図書館車「とっくん号」の運行は今期3か月間で計35回、貸出冊数は923冊であった。また、読み聞かせは7回で65人の参加があった。(コッコハウス・道の駅・南公園等で行った。</p> <p>①小中学校の外国語担当教職員を対象に、デジタル教科書の効果的な使い方についての研修会と、小学校の外国語教育の授業研究会を行い、資質の向上を図った。</p> <p>②各学校からの要望により運動用具を購入整備し、体力づくりに活用するようになった。</p> <p>②体育施設の利用は9月末で62,700名だった。</p> <p>②町民プールを一般解放し、35日間で1,460名の利用があった。</p> <p>②チャレンジクラブ会員は351名である</p> <p>3 ①「学校運営協議会」の研修を行い23名が参加した。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブの会員が今期2名増加し8名となった。</p> <p>②「ましこ未来大学」では、県外研修など順調に進み、アクションプランの作成が始まった。</p>	<p>1 ①事業の充実に努め、保護者の思いに寄り添い、安心した子育てができるような地域づくりに努める。育脳インストラクターによる研修会を予定する。</p> <p>①Hyper-QUの分析により、各学級担任が課題意識をもって2学期以降の学級経営に生かしていき、より楽しい学校生活につなげていく。</p> <p>①今後も適宜、健康福祉課主催のケース会議にスクールソーシャルワーカーが出席し、情報共有しながら効果的な指導が行えるよう助言や支援をしていく。</p> <p>①モデル校においてAIドリルと授業支援アプリの実践を重ねて、より効果的にタブレットPCを活用できるよう引き続き、助言や支援をしていく。</p> <p>①各学校での授業研究会等を通して、学力向上を目指す授業作りの助言を行い、教員が自信をもって授業ができるよう支援していく。</p> <p>②コロナ禍でもできることを考えて、児童生徒の成長につながる活動を実施していく。</p> <p>②今後も子どもが主体となって活躍する場を設定し、自己有用感を持たせていきたい。</p> <p>2 ①移動図書館車の運行も軌道に乗り、貸し出し冊数も増えており、今後も継続していき、多くの町民に本にふれあう機会を作っていく。</p> <p>読みきかせも継続していく。</p> <p>①デジタル教科書の効果的活用や外国語の授業研究会により、今後も指導力向上を目指していく。研修の成果を生かすよう助言していく。</p> <p>②今後も、コロナ対応をして楽しみながら運動するよう呼びかけていきたい。</p> <p>②体育施設やプールについては、利用者があり、町民には身近なものである。今後も健康づくりに大きく貢献していくものになる。</p> <p>②チャレンジクラブについては、参加者の意欲的な活動を支えて、活性化を図っていく。</p> <p>3 ①学校運営協議会の準備段階として、今後も研修会を実施していく。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブの会員は今後も、勧誘を続けて、さらに充実した活動をしていく。</p> <p>②ましこ未来大学は、OBの協力を得ながら参加者が充実感を持てるようにしていく。</p>

基礎目標	社会的に自立した人を育てる					第3四半期
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合(小・中)	%	84.3	85.5	84.0	+3.4
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	74.0	71.5(R3)	+5.3
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	88.5	85.2	△0.1
	②チャレンジ精神を持つ子供の割合	%	81.5	82.5	73.6	△2.1
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	70	68.1(R3)	—
	②体育施設利用者数(延べ人数)	人	124,180	125,000	90,000	+5,000
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	4	1	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	56.5	62.8(R3)	+6.4

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業の中で、「育脳について」や親子のふれあい遊びなどを実施した。育脳インストラクターによる関係機関向け研修会を実施した。</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが全小中学校を訪問し、配慮児童生徒の情報交換を行った。要請により保護者・家庭との相談支援を行った。</p> <p>①不登校児童生徒の月別調査を毎月実施して、状況を把握しているが、不登校児童生徒は増加傾向である。</p> <p>①七井小・七井中でAIドリルの活用状況を確認し、効果が大きいことがわかった。さらに効果的な活用について支援した。</p> <p>①益子小、益子西小において、学力向上推進リーグとの授業参観及び研究会を実施した。七井小、七井中、田野小において、県学力向上コーディネーター派遣事業により教員の指導力向上を図った。</p> <p>②各・小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として挨拶運動を実施した。</p> <p>②中学校3校のマイチャレンジ事業は、11/14～11/16に3年ぶりに実施した。3中学校の日程を統一し事業所も調整して実施した。</p> <p>2 ①移動図書館車「とっくん号」の運行は今期3か月間で計49回、貸し出し冊数は1593冊であった。また、読み聞かせは6回で26人の参加があった。(コッコハウス・北公園で行った。)</p> <p>①益子小・益子西小・田野小で外国語小中連携授業参観を行った。</p> <p>①英検3級以上の受験者数は、38件だった。</p> <p>②トレーニング室使用者講習会4回実施し、計48名が受講した。体育施設の利用は12月末で90,000名だった。</p> <p>②チャレンジクラブ会員は377名であり前四半期から26名増加したが、昨年同期に比べると58名の減少である。</p> <p>3 ①田野小の「学校運営協議会」はコロナのため中止となった。田野中においては次年度に向けて、学校・地元の方と準備会議を行った。</p> <p>②「ましこ未来大学」では、12/10にアクションプラン発表会と閉講式を行った。</p>	<p>1 ①事業の充実に努め、保護者の思いに寄り添い、安心した子育てができるような地域づくりに努める。育脳インストラクターの助言を今後に生かす。</p> <p>①今後も適宜、学校にスクールソーシャルワーカーが出向き、情報共有しながら効果的な指導が行えるよう助言や支援をしていく。</p> <p>①小中学校とも個別の丁寧な対応をしていくとともに安心して関われる教員やSC、SSWとの連携を引き続き行っていく。</p> <p>①AIドリルの効果をもとに、今後は家庭への持ち帰りにより家庭学習における利用についてもさらに進めていきたい。</p> <p>①各学校での授業研究会等を通して、学力向上を目指す授業作りの助言を行い、教員が自信をもって授業ができるよう支援していく。</p> <p>②コロナ禍でもできることを考えて、児童生徒の成長につながる活動を実施していく。</p> <p>②3中学校の日程を統一し、事業所も調整しながら行って、円滑な事業になったので、次年度も主体的なキャリア教育の一環として継続したい。</p> <p>2 ①移動図書館車による貸し出し冊数も増えており、今後も継続していき、多くの子供に本に親しむ場を作っていく。読み聞かせも継続していく。</p> <p>①小中連携の外国語授業参観は相互理解のために重要であり、今後も継続したい。</p> <p>①今後も英検受験料の補助について説明し、対策をした上での受検を呼びかけて行く。</p> <p>②トレーニング室の利用はじめ体育施設の利用は増加傾向であり、今後も、コロナ対策のもと利用促進に努めていきたい。</p> <p>②チャレンジクラブについては、さらに魅力ある運営に心がけ、多くの参加を呼びかけ、活性化を図っていく。</p> <p>3 ①学校運営協議会の準備段階として、未設置校についても準備打合せを行っていく。また、研修会も実施していく。</p> <p>②ましこ未来大学修了生のアクションプランが実際に実現され、今後の商品化に向けた展開を考えて行く。</p>

基礎目標	社会的に自立した人を育てる				第4四半期	
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	自分を尊重できる人の割合(小・中)	%	84.3	85.5	84.1	+3.5
	地域に愛着がある人の割合	%	72.5	74.0	69.1	△2.4
政策1	①学校が楽しいと感じる子供の割合	%	87.25	88.5	85.2	△0.1
	②チャレンジ精神を持つ子供の割合	%	81.5	82.5	73.6	△2.1
政策2	①月に3冊以上本を読む子供の割合	%	—	70	68.7	+0.6
	②体育施設利用者数(延べ人数)	人	124,180	125,000	116,692	+12,289
政策3	①コミュニティスクール設置学校数	校	0	4	1	±0
	②地域活動等への参加意識がある人の割合	%	55.3	56.5	64.5	+1.7

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①母子保健事業の中で、「育脳について」や親子のふれあい遊びなどを実施した。育脳インストラクターによる研修会実施。(支援者向け16名、保護者向け21名が参加)</p> <p>①町スクールソーシャルワーカーが全小中学校を訪問し、配慮児童生徒の情報交換や進路・進級について保護者への相談を行った。</p> <p>①不登校児童生徒の月別調査を毎月実施して状況を把握しているが、不登校児童生徒は増加した。(小学校19名、中学校57名)</p> <p>①七井小、七井中において、県学力向上コーディネーター派遣事業により教員の指導力向上を図った。</p> <p>①小学校対象の町独自の学力調査では、ほとんどの学年及び教科で全国平均を上回っていた。</p> <p>②各・小中学校とも、児童会・生徒会による主体的な活動として挨拶運動を実施した。</p> <p>②キャリアパスポートの作成及び活用について町教務主任会で説明した。</p> <p>②部活動外部指導者派遣事業については、コロナ禍でも計画的に実施することができた。</p> <p>2 ①不読率の減少(5.3%; -1.3%)、中学生の月1冊以上読んだ生徒の増加(29.1%; +6.8%)などは、移動図書館車の効果と考えられる。読み聞かせは2回で27人の参加があった。</p> <p>①七井小で外国語教育の授業研究会を行った。</p> <p>①第3回英検3級以上受験者数は22件だった。令和4年度の中学3年生の英検3級以上の取得率は18.8%であった。</p> <p>②トレーニング室使用者講習会を3回実施し、計54名が受講した。体育施設の利用は3月末で116,692名(前年比+12,289名)だった。</p> <p>②チャレンジクラブ会員は384名であり、昨年同期に比べると55名の減少である。</p> <p>3 ①田野小の「学校運営協議会」の実施(2/15・2/18)。2/21;コミュニティスクール研修会実施(30名参加)。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブは高校生6人であるが積極的に活動している。郡市内の交流会や町イベントの協力をしている。(3/4のトライやるスクール)</p>	<p>1 ①事業の充実に努め、保護者の思いに寄り添い、安心した子育てができるような地域づくりに努める。育脳インストラクターによる研修会を今後も実施し、その助言を事業の運営に生かす。</p> <p>①今後も学校や家庭にスクールソーシャルワーカーが出向き、情報を共有しながら効果的な指導支援が行えるようにしていく。</p> <p>①小中学校とも個別の丁寧な対応をしていくとともに、安心して関われる教員やSC、SSWとの連携を引き続き行っていく。</p> <p>①学力向上改善プランに基づき、検証と次年度の計画作成を進めていく。</p> <p>①全国平均を下回る教科や課題のある部分については、補充学習を引き続き支援していく。</p> <p>②コロナ禍でもできることを考えて、児童生徒の成長につながる主体的活動を実施していく。</p> <p>②キャリア教育の充実のため、キャリアパスポートの作成・蓄積・活用を継続していく。</p> <p>③次年度も外部指導者の派遣により、部活動の活性化と生徒個人の技能向上を図っていく。</p> <p>2 ①読書活動については、今後も移動図書館車の運行、図書ボランティアによる読み聞かせ、各小中学校での図書館活用により、多くの子供に本に親しむ場を作っていく。</p> <p>①小学校の外国語では、約9割が進んで授業を受けており今後もこの体制を継続していきたい。</p> <p>①今後、町内在住者への英検受験料の全額補助について説明し、意欲を喚起したい。</p> <p>②トレーニング室・体育施設の利用はコロナ禍の水準に戻りつつあり、利用促進に努めていく。</p> <p>②チャレンジクラブは、さらに参加を呼びかけるとともに、部活動の地域移行の受け皿としての役割を担っていただくことを呼びかけていく。</p> <p>3 ①次年度は、新たに田野中・益子中・七井中の3校で学校運営協議会を立ち上げる予定である。</p> <p>②ジュニアリーダーズクラブ会員募集のためチラシ配布に加え、直接の呼びかけも行う。また、ましこ未来大学との連携もしながらメンバーを増やしていきたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課				
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる		政策	自らの未来を切り拓くことができる人財の育成			
施策	子供の非認知能力を高める体制づくり		進捗状況	100%			
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」		関連するSDGs	4教育			
KPI	学校が楽しいと感じる子供の割合		本年度目標値	88.5	現状値	85.2	%
KPI			本年度目標値		現状値		
KPI			本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	5月	1.母子保健事業や子育て支援事業において育脳プログラムの普及啓発する	1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	6月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	7月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	8月	1.母子保健事業や子育て支援事業において育脳プログラムの普及啓発する	1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	9月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	10月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	11月	1.母子保健事業や子育て支援事業において育脳プログラムの普及啓発する	1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	12月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する 2.育脳インストラクターによる研修会・講座を実施する				
	1月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する				
	2月	1.母子保健事業や子育て支援事業において育脳プログラムの普及啓発する	1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する 2.育脳インストラクターによる研修会・講演会をハイブリット方式で実施する 令和5年2月3日(金) 支援者向け研修会 16人参加 令和5年2月4日(土) 保護者向け 21人参加				
	3月		1.各事業時に育脳の普及啓発や手遊び等を実施する 2.ポスター・リーフレットを作成する。				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①母子保健事業の中で、育脳についてや、親と子のふれあい遊びなどを実施し、普及啓発を図った。引き続き、実施内容の充実に努め、推進に努める。感染対策に留意し実施した。保護者の思いに寄り添いつつ、安心して子育てができるような地域づくりに努める。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①母子保健事業の中で、育脳についてや、親と子のふれあい遊びなどを実施し、普及啓発を図った。引き続き、実施内容の充実に努め、推進に努める。感染対策に留意し実施した。保護者の思いに寄り添いつつ、安心して子育てができるような地域づくりに努める。新型コロナ感染症の状況を踏まえ、育脳インストラクターによる研修会・講座を予定する。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①母子保健事業の中で、育脳についてや、親と子のふれあい遊びなどを実施し、普及啓発を図った。引き続き、実施内容の充実に努め、推進に努める。感染対策に留意し実施した。保護者の思いに寄り添いつつ、安心して子育てができるような地域づくりに努める。</p> <p>②新型コロナ感染症の状況を踏まえ、育脳インストラクターによる関係機関向け研修会、及びましコココハウス利用者向け講座を実施した。育脳インストラクターの助言を各事業の運営に生かす。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 (第 4 四 半 期 含)</p>	<p>①母子保健事業の中で、育脳についてや、親と子のふれあい遊びなどを実施し、普及啓発を図った。引き続き、実施内容の充実に努め、推進に努める。感染対策に留意し実施した。保護者の思いに寄り添いつつ、安心して子育てができるような地域づくりに努める。</p> <p>②新型コロナ感染症の状況を踏まえ、育脳インストラクターによる関係機関向け研修会、及びましコココハウス利用者向け講座を実施した。育脳インストラクターの助言を各事業の運営に生かす。R5度も同研修会・講演会を継続する。</p> <p>③ポスター・リーフレットをましコココハウスや保健センター等に掲示する。リーフレットも併せて事業参加者に配布して、育脳の普及に努める。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 ・育脳プログラムについて 普及・啓発については、地道な取り組みが必要と考える。今後も保健センターやましっこハウス等が共通認識のもとに、子育てに関わる基本的な考えや方向性を示し、保護者が子育てをしていく上でのひとつの「柱」になるよう期待したい。</p> <p>・益子町の子育て支援の手厚さ(保育料の支援等)は、他市町の模範となっているようである。今後も子育て世代だけでなく、予備軍にも大きなメリットなので、「益子町に住みたい、子育てしたい。」という人たちを増やし、人口減少に歯止めをかけてほしい。(移住したいという人の理由に「子育てのしやすさ」をあげてもらえるようになるとよい)</p>	<p>今後も保健センターやましっこハウスの事業を通して普及啓発に努めたい。また、感染症対策に配慮して、講演・講座の開催に努めたい。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	学校教育課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる	政策	自らの未来を切り拓くことができる人財の育成			
施策	子供の非認知能力を高める体制づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	4教育			
KPI	学校が楽しいと感じる子供の割合	本年度目標値	88.5	現状値	85.2	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月		③hyper-QU事業を各小中学校へ周知 ③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査(4/30) ③不登校児童生徒の月別個別支援調査(4/30) ④学力向上コーディネーター事業に関する説明実施 田野小(4/11)田野中(4/13) ④学力向上推進リーダーとの授業参観及び研究会 七井小(4/28)			
	5月	③hyper-QU事業を各小中学校へ周知し、全小中学校で実施 ③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③スクールソーシャルワーカー1名配置 ③配慮児童生徒の情報交換 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④第1回学力向上検討委員会開催	③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③配慮児童生徒の情報交換 益子中(5/24) ③スクールソーシャルワーカー学校巡回 田野中(5/18)益子中(5/18)益子西小(5/20) ③学校におけるいじめ状況月例調査(5/31) ③不登校児童生徒の月別個別支援調査(5/31) ③hyper-QU実施 田野中(5/18)田野小(5/26) ④第1回学力向上検討委員会開催(5/24) ④学力向上コーディネーター派遣事業 七井中(5/19)田野中(5/23)田野小(5/25) ④学力向上推進リーダーとの授業参観及び研究会 田野小(5/13)益子西小(5/30)			
	6月	④第1回学力向上検討委員会開催 ④一人一台タブレットPC実施状況確認授業参観実施 ④一人一台タブレットPC活用事例集の送付 ④県学力向上コーディネーター事業への参加 ④学力向上推進リーダーとの授業参観及び研究会	③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③配慮児童生徒の情報交換 七井小(6/3)田野小(6/7)益子西小(6/8)益子小(6/16)田野中(6/20)七井中(6/21) ③学校におけるいじめ状況月例調査(6/30) ③不登校児童生徒の月別個別支援調査(6/30) ③hyper-QU実施 益子小(6/6~10)七井小(6/15)益子中(6/20) 益子西小(6/15) 七井中(5/21) ④一人一台タブレットPC活用事例集の送付(6/17) ④一人一台タブレットPC実施状況確認授業参観 田野小(6/1)七井中(6/7)七井小(6/13)田野中(6/13)益子西小(6/17)益子小(6/17) 益子中(6/29) ④学力向上コーディネーター派遣事業 七井中(6/22)七井小(6/30)			
	7月		③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③町指導助手研修会開催(7/26)配慮を要する児童への支援について ③不登校児童生徒の月別個別支援調査			
	8月	③hyper-QU研修会開催 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④一人一台タブレットPC研修会の実施 ④第2回学力向上検討委員会開催 ④県学力向上コーディネーター事業への参加 ④学力向上推進リーダーとの授業参観及び研究会	③hyper-QU研修会開催(8/8) ③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ④第2回学力向上検討委員会開催(8/4) ④一人一台タブレットPC研修会開催(8/9)			
	9月		③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④学力向上コーディネーター派遣事業 田野小(9/28) ④家庭におけるWi-Fi調査実施 ⑤一人一台タブレットPCにおけるアプリケーション実証事業開始 七井小、七井中(R4.9月~R5.3月)			
	10月		③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④AIドリル活用状況確認 七井小(10/17)七井中(10/20) ④学力向上推進リーダーとの授業参観及び研究会 益子小(10/18)益子西小(10/24)			
	11月	③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④県学力向上コーディネーター事業への参加 ④学力向上推進リーダーとの授業参観及び研究会	③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④学力向上コーディネーター派遣事業 七井小(11/30)			
	12月		③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④学力向上コーディネーター派遣事業 七井中(12/5) 田野小(12/14)			
	1月		③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④学力向上コーディネーター派遣事業 七井小(1/19)			
	2月	③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④県学力向上コーディネーター事業への参加 ④学力向上推進リーダーとの授業参観及び研究会 ④第3回学力向上検討委員会開催	③スクールソーシャルワーカー学校巡回 ③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査 ④第3回学力向上検討委員会開催(2/14) ④学力向上コーディネーター派遣事業 七井中(2/27)			
	3月		③学校におけるいじめ状況月例調査 ③不登校児童生徒の月別個別支援調査			

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>③5月、6月に全小中学校においてhyper-QUを実施した。 各校において結果を有効に活用できるようにするため、hyper-QU活用研修会を8月に実施し、よりよい学級づくりへの支援をしていく予定である。</p> <p>③スクールソーシャルワーカーが定期的に学校へ巡回したり、保護者及び学校の要請により保護者への相談・支援を行ったりした。また、健康福祉課主催のケース会議に出席し、便宜協議・助言を行った。援助の必要な家庭を福祉機関につなぐ等、学校だけでは解決できない状況に有効な役割を果たした。 情報を共有しながら、効果的な指導、助言をしていけるよう努めたい。</p> <p>④各校の一人一台タブレットPCの実施状況を確認し、活用に関する助言や指導を行った。また、効果的に活用できるよう事例集を全職員に送付した。今後、タブレットPCに関する研修を実施したり、益子町学力検討委員会において効果的な活用の仕方を情報共有するなどし、授業において効果的にタブレットPCを活用できるよう指導支援をしていきたい。</p> <p>④県学力向上コーディネーター事業を益子町で実施していくための計画を作成し、各小中学校に周知した。七井小・七井中・田野小・田野中においては、第1回目の訪問を実施し、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に向けて授業研究会や研修会を実施した。各校の学力向上改善プランや授業づくりの機会を設定し、各校への指導支援をしていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>③hyper-QU研修会を実施した。町内小中学校教員15名が参加した。hyper-QUの結果を見方や児童生徒への支援の仕方を中心とした内容で、2学期以降の学級経営に生かしていきたいという感想が多く見受けられるなど、有意義な研修となった。</p> <p>③スクールソーシャルワーカーが定期的に学校へ巡回したり、保護者及び学校の要請により保護者への相談・支援を行ったりした。また、健康福祉課主催のケース会議に出席し、便宜協議・助言を行った。援助の必要な家庭を福祉機関につなぐ等、学校だけでは解決できない状況に有効な役割を果たした。 情報を共有しながら、効果的な指導、助言をしていけるよう努めたい。</p> <p>④授業や家庭学習で効果的に利用できるアプリケーション導入に向けて、家庭内のWi-Fi調査やAIドリル・授業支援アプリケーションのモデル校における実証事業を開始した。効果的にタブレットPCを活用できるよう引き続き指導支援をしていきたい。</p> <p>⑤学力向上検討委員会で、学力向上改善プランの作成についての研修会を行った。とちぎっ子学力調査結果の分析の仕方、改善プラン作成をどのように進めればよいのか等を確認できた。各校への授業研究会等を通し、指導支援をしていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>③スクールソーシャルワーカーが定期的に学校へ巡回し配慮が必要な児童生徒の情報交換をしたり、保護者及び学校の要請により保護者への相談・支援を行ったりした。</p> <p>④県学力向上コーディネーター派遣事業及び学力向上推進リーダー事業で、各学校の学力向上改善プランをもとに、研究授業や授業研究会を実施し、教師の指導力向上の検証・改善を行った。</p> <p>④AIドリルの活用状況を確認し、効果的に活用できるかについて検証を行った。また、学校で円滑に活用できるよう支援を行った。今後、家庭学習における効果的な活用についても進めていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>③スクールソーシャルワーカーが定期的に学校へ巡回し配慮が必要な児童生徒の情報交換をしたり、進学や進級についての内容で保護者への相談・支援を行ったりした。</p> <p>④学力向上検討委員会で、各学校の学力向上改善プランについての検証や次年度に向けた計画の立て方について、指導支援を行った。</p> <p>④町独自学力調査の分析結果では、ほとんどの学年及び教科で全国平均を上回り良好な結果であった。全国平均を下回るなど課題のみられる部分については、補充学習について引き続き支援を行っていく。</p>

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 (さまざまな問題(不登校等)を抱える児童生徒への支援について) ・学校での児童生徒指導だけでは解決できない課題については、福祉の面からも支えることが必要である。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、そして町保健師もその担い手として重要だと考える。横の連携をすることは大きな力となると思う。</p> <p>・各学校はさまざまな理由で教室に足が向かない児童生徒のために、担当する教員をやりくりしながら自習室や保健室で生活・学習支援をしているとのこと。町では、学校と家庭のつなぎ役である「つばさ教室」が子どもたちの居場所として定着している。学校や家庭の「困り感」への共感と支援を継続してほしい。</p> <p>(学力向上関連について) ・コロナ感染拡大を防ぐための対策がこれから段階的に解除され、学校でも学習指導面でプラスになるだろう。各学校での授業改善に向けての取組については継続して進めてもらいたい。 また、タブレットPCの活用については、学習指導の効果を高めるための「道具・手段」として、少しずつ使えるようになってもらえればよいと思う。活用事例集も段階的に、充実されることを期待したい。(教員の負担軽減のためにも必要)</p>	<p>・WEB-QUの導入により、いじめや不登校の児童生徒の予備軍の把握や学級経営に生かす手立てがアンケート即日に分かるようになった。学校における対応が素早くできる環境ができてきたため、様々な問題を抱える児童生徒への手立てとして活用していく。</p> <p>・町のスクールソーシャルワーカーが各小学校を巡回し、県のスクールソーシャルワーカーと連携しながら、児童生徒、保護者、教職員等に対する支援を行ったり、関係機関とつないだりしていく。</p> <p>・町指導助手の配置による個別支援の充実や、不登校児童生徒の居場所となる「つばさ教室」へのつなぎを円滑にできるよう、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの情報交換なども引き続き行い、学校や家庭への支援をしていく。</p> <p>・町学力向上検討委員会でICT支援員による授業支援の紹介などを継続することで、タブレットPCを効果的に使用できるようにしていく。Googleクラスルームで活用事例の紹介や授業支援の案内などもしていく。</p> <p>・学力向上改善プラン作成については、学校全体で組織的・重点的に取り組む内容を明確にし、学習指導に関わる検証改善サイクルの確実な運用を図れるよう、益子町学力向上検討委員会や各校の授業研究会等において指導、助言を行うなどしながら、引き続き推進していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	学校教育課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる	政策	自らの未来を切り拓くことができる人財の育成			
施策	主体的に行動できる人財づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—			
KPI	チャレンジ精神を持つ子供の割合	本年度目標値	82.5	現状値	73.6	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①児童会、生徒会によるあいさつ運動 ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 ③キャリアパスポートの作成 ③マイチャレンジ担当者会議開催 ③マイチャレンジ推進事業補助金内示 ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金事業計画書の提出		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(4月) ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 益子小、七井小 ③キャリアパスポートの作成 ③マイチャレンジ担当者会議開催(4/14) ③マイチャレンジ推進事業補助金内示(4/15) ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金事業計画書の提出(4/28) ③各中学校へ外部指導者の推薦を依頼。申請書受理(4/8) ③町教育委員会にて外部指導者の決定。各中学校へ派遣(4/20) ③外部指導者のスポーツ安全保険加入処理(4/28)		
	5月	③各中学校へマイチャレンジ推進事業補助金交付決定、概算払い ③各中学校の文化部に中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施し、外部指導者を派遣。安全保険加入処理。		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(5月) ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 田野小、益子西小、益子中、田野中 ③キャリアパスポートの作成 ③各中学校へマイチャレンジ推進事業補助金交付決定(5/12)		
	6月	②小学校4年宿泊学習 ②中学校1、2年宿泊学習 ②臨海自然教室実施		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(6月) ③キャリアパスポートの作成 ③各中学校へマイチャレンジ推進事業補助金概算払い(6/8) ②小学校4年宿泊学習を日帰りで実施(田野小6/3、益子小5/31、益子西小5/26、七井小6/23) ②中学校1・2年は宿泊または日帰りで実施(田野中6/24~6/25、益子中2年6/7~6/9、1年6/8~6/9) ②臨海自然教室を日帰りで実施(田野小6/9、益子小・益子西小・七井小6/10)		
	7月	①児童会、生徒会によるあいさつ運動 ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 ③キャリアパスポートの作成		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(7月) ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 田野小、益子西小、益子中、田野中 ③キャリアパスポートの作成 ③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第1期分)実績報告書提出依頼(7/7)		
	8月	③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第1期分)の実績報告書提出依頼・謝金支払処理		③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第1期分)謝金支払処理(8/9)		
	9月			①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(9月) ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 田野小、益子西小、益子中、田野中 ③キャリアパスポートの作成		
	10月	①児童会、生徒会によるあいさつ運動 ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 ③キャリアパスポートの作成		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(10月) ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 田野小、七井小 ③キャリアパスポートの作成		
	11月	③マイチャレンジ推進事業実施予定(3中学校・11月) ③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第2期分)の実績報告書提出依頼・謝金支払処理		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(11月) ③キャリアパスポートの作成 ③マイチャレンジ推進事業実施(11/14~11/16) ③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第2期分)実績報告書提出依頼(11/25)		
	12月			①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(12月) ③キャリアパスポートの作成 ③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第1期分)謝金支払処理(12/15)		
	1月	①児童会、生徒会によるあいさつ運動 ①あいさつを月の生活目標に位置付けての指導 ③キャリアパスポートの作成 ③広報ましこにマイチャレンジの様子を掲載(3中学校)		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(1月) ③キャリアパスポートの作成 ②益子中特設ロボコン部全国大会出場祝懸垂幕を役場庁舎壁面へ提示 ③広報ましこにマイチャレンジの様子を掲載(3中学校)		
	2月	③広報ましこにマイチャレンジの様子を掲載(3中学校) ③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第3期分)の実績報告書提出依頼・謝金支払処理		①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(2月) ③キャリアパスポートの作成		
	3月			①児童会、生徒会によるあいさつ運動 各小中学校(3月) ③キャリアパスポートの作成 ③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第3期分)実績報告書提出依頼(3/6) ③各中学校へ「令和5年度益子町立中学校文化部活動外部指導者派遣事業」の派遣申請書提出依頼(3/22) ③中学校文化部活動外部指導者派遣事業(第3期分)の謝金支払処理(3/31)		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①学校の生徒指導(児童指導)や生徒会(児童会)の計画に従い、児童・生徒が進んであいさつしたり、意識したりする場を設けることができた。 各校と児童・生徒に関する情報交換を行い、効果的な指導が行えるよう、支援する。</p> <p>③マイチャレンジ推進事業については、町内3中学校が連携し事業を行っていきけるよう、担当者会議を開催した。新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、効果的な学習が行えるよう、支援する。</p> <p>③5文化部中2文化部にて、中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施。 中学校文化部活動外部指導者未派遣の部については、学校から希望がある場合には、随時派遣受付を実施する。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症予防のため、宿泊学習が一部日帰りでの実施になった。 新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、効果的な学習が実施できるよう支援する。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①引き続き各校と児童・生徒に関する情報交換を行い、あいさつやキャリア教育について効果的な指導が行えるよう、支援する。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①各校と児童・生徒に関する情報交換を行い、継続して効果的な指導が行えるよう、支援する。</p> <p>③キャリアパスポートの作成については、県教委の資料等を配布するなどした。</p> <p>③マイチャレンジ推進事業については、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、3年ぶりに実施することができた。今後も町内3中学校が連携し事業を行っていきけるよう、支援する。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>③キャリアパスポートの活用については、教務主任会議の際に県教委から説明を行った。</p> <p>③外部指導者派遣事業(第3期分)については、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、計画的に実施することができた。次年度も外部指導者の派遣により、部活動等の活性化と生徒個人の技能の向上が図られるよう、支援していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 〈キャリアパスポートの活用について〉 ・児童生徒の経験や学びの記録を1冊の「ノート」に継続して書き残すことで、自分自身の「めあてづくり」や「ふりかえり」をたどることができるのはとても良いと思う。指導する側は、小中の9年間をひと続きで支援するための重要な資料になると思う。今後の充実を期待したい。</p> <p>〈マイチャレンジ体験活動について〉 ・地域で子どもたちを育てるという観点から継続をしてほしい。</p> <p>〈外部指導者の受け入れについて〉 ・運動部だけでなく、文化部の外部指導者も今後増えるのではないかな。あくまでも、児童生徒にプラスになるよう配慮をお願いしたい。</p>	<p>・キャリア・パスポートの活用については、益子町のキャリアパスポートの形式を活用して各学年で年に複数枚蓄積し、次学年へと引継ぎ、小学校から中学校への引き継ぎも行われている。引き続き9年間の引継ぎと、内容の充実を図っていく。</p> <p>・マイチャレンジ事業については、次年度も町内3中学校で日程を合わせ、3中学校が連携しながら実施する予定である。</p> <p>・中学校部活動の外部指導者の派遣については、次年度も継続予定である。運動部、文化部共に、外部指導者による専門的な指導を受けることにより、生徒の技能の向上を図っていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる		政策	自らの未来を切り拓くことができる人財の育成		
施策	主体的に行動できる人財づくり		進捗状況	100%		
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」		関連するSDGs	—		
KPI	チャレンジ精神を持つ子供の割合		本年度目標値	82.5	現状値	73.6 %
KPI			本年度目標値		現状値	
KPI			本年度目標値		現状値	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		②開催要項を配布(学校)4/21			
	5月	②ましこいきいきトライやるスクール(第1回)	②申込期限5/27(14名申込)			
	6月		②ましこいきいきトライやるスクール(第1回)小宅自然を満喫～竹でご飯を炊いてみよう～6/18(7/16へ延期)			
	7月		②ましこいきいきトライやるスクール(第1回)小宅自然を満喫～竹でご飯を炊いてみよう～7/17(再延期)			
	8月	②ましこいきいきトライやるスクール(第2回)	②ましこいきいきトライやるスクール(特別編)ゆるえんす 8/5 10人 ②ましこいきいきトライやるスクール(第2回)魚のつかみ取りをしてみよう 8/27 8人(4名欠席)			
	9月		未実施			
	10月		未実施			
	11月	②ましこいきいきトライやるスクール(第3・4回)	②ましこいきいきトライやるスクール(第1回)小宅自然を満喫～竹でご飯を炊いてみよう～11/5(中止) ②ましこいきいきトライやるスクール(第3回)光る泥団子作り11/26 7人			
	12月		②ましこいきいきトライやるスクール(第4回)英語でクリスマス会12/17 7人			
	1月		未実施			
	2月	②ましこいきいきトライやるスクール(第5回)	未実施			
	3月		②ましこいきいきトライやるスクール(第5回)まちなかウォークラリー3/4 8名			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>②新型コロナウイルス感染症の影響で例年より参加申込者が少ない。(14人定員20人)今後も、感染対策を徹底しながら、事業を行う。6月18日予定していた、トライやるスクールは、関係者に新型コロナ感染症の濃厚接触者が出たため、7月へ延期となった。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>②新型コロナウイルス感染症の影響で小宅自然を満喫～竹でご飯を炊いてみよう～が再延期となった。第2回は予定通り開催できたが体調不良者もおり参加者が減った。今後も、感染対策を徹底しながら、事業を行う必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>②新型コロナウイルス感染症の影響で、再延期になっていた小宅自然を満喫～竹でご飯を炊いてみよう～が中止となった。第3回、第4回は予定通り開催できたが体調不良者もおり参加者が減った。今後も、感染対策を徹底しながら、事業を行う必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②3月4日にトライやるスクールまちなかウォークラリーを実施。今後、効果的な広報手段を考える必要がある。ウォークラリーでは、城内坂周辺のましこ世間遺産登録箇所やましこココロハウス、陶芸メッセ・益子などの町施設を見学。地元の方との交流や公共施設の役割等について理解を深めることができた。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 〈ましこいきいきトライやるスクールについて〉 ・コロナ禍で制約も多い中でも実施できたのは良かったと思う。子どもたちが、学校外で自分の生活経験を頼りにさまざまなことに「トライ」する機会が増えるように、今後も継続してほしい。</p>	<p>学校では経験することができない講座や、子どもたちの参加意欲が高まる講座ができるよう情報収集を行うとともに、関係機関と連携し事業の充実を図る。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	学校教育課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる	政策	豊かな人間性と健やかな体を備えた人財の育成			
施策	しなやかで豊かな心を持つ人財づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	4教育			
KPI	月に3冊以上本を読む子供の割合	本年度目標値	70	現状値	68.7	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	③学校司書2名配置 ④外国語科事務連絡会議の実施 ④外国語小中連携授業参観(中学校)		③学校司書2名配置 ④外国語科事務連絡会議の実施(4/6)小学校専科教員 ④ALTを小学校3名、中学校2名配置 ④英検検定料補助金交付申請のお知らせを3中学校に配布(4/8)、HP掲載済		
	5月	④ALTを小学校3名、中学校2名配置 ④英検検定料補助金について、HPや紙文書で各中学校へ周知		④外国語小中連携授業参観七井中(5/20)		
	6月			④外国語小中連携授業参観 田野中(6/2) 益子中(6/30)		
	7月			④第1回英検検定料補助金支払(7/28)		
	8月	④外国語教育研修会(外国語専科教員、小中学校教員、ALT対象) ④小学校外国語科専科(非常勤講師)対象の授業研究会実施		④外国語教育研修会(8/8)		
	9月			④小学校外国語科専科(非常勤講師)対象の授業研究会 益子西小(9/20) 田野小(9/29)		
	10月					
	11月	②文化庁芸術家の派遣事業「伝統芸能・箏」実施(益子中) ④小学校外国語科専科(非常勤講師)対象の授業研究会実施		②文化庁芸術家の派遣事業「伝統芸能・箏」実施(益子中)(11/16~18) ④第2回英検検定料補助金支払(11/18)		
	12月			④外国語小中連携授業参観 益子小(12/12) 益子西小(12/14) 田野小(12/20) ④外国語科及び外国語活動に関するアンケートの実施(12月中)		
	1月			④外国語科及び外国語活動に関するアンケートの結果の周知 ④小学校外国語教育 授業研究会 七井小(1/27)		
	2月	④外国語科及び外国語活動に関するアンケート実施 ④外国語小中連携授業参観(小学校) ④外国語科事務連絡会議の実施				
	3月			④第3回英検検定料補助金支払(3/22) ④外国語科事務連絡会議(3/29)		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>④第1回英検補助金申請は38件(昨年同時期実績62件) 第1回の結果が出次第、受験率・英検取得率について校長会等で説明し、制度活用を呼びかける。</p> <p>④外国語専科、外国語非常勤講師による授業研究会を実施し、今年度の授業についての共通理解を図ることで、スムーズに実施することができた。また、小中連携授業参観を実施し、小学校外国語科で学習したことを中学校の英語科で生かすことができていることを確認できた。 今後、小学校外国語専科教員やALTを対象にした研修会を実施し支援を行う。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>④小中学校の外国語教育を実施している教職員を対象に、デジタル教科書の効果的な活用についての研修会を実施した。また、小学校の外国語教育の授業研究会を実施し、指導者の資質の向上を図った。引き続き、授業支援を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>②益子中学校で文化庁芸術家の派遣事業を実施。1～3年計309名が筆の指導を受け、日本の伝統芸能に親しんだ。次年度の文化芸術事業について、引き続き募集案内を速やかに各学校へ周知し活用を促していく。</p> <p>④小中連携授業参観を実施し、小学校外国語科と中学校の英語科の円滑な接続について協議を行った。今後、アンケート調査を分析し、児童の実態を踏まえながら、引き続き指導支援を行っていく。</p> <p>④第2回英検補助金申請は38件(昨年同時期実績40件)。第2回の結果が出次第、受験率・英検取得率について校長会等で説明し、制度活用を呼びかける。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>④小学校外国語科の授業研究会を実施し、指導力向上を図った。小学校児童のアンケート結果では、進んで授業に参加しているが約9割と良好な結果であった。</p> <p>④中学校3年生について、第3回英検補助金申請は21件(昨年同時期実績22件)。英語検定第3回終了時における3級受験率は24.6%、3級取得率は18.8%である。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 〈学校司書の複数配置について〉 ・図書室に「本のプロ＝人」がいるのは、子どもたちにとっては魅力だと思う。教員も授業の資料の助言が得られれば、プラスになる。継続をお願いしたい。 また、移動図書館の運行により、図書に関する興味関心が高まっていることはとても良い事だと思う。訪問先のニーズに応じた活用を考えてさらに充実することを期待したい。</p> <p>〈小学校の外国語について〉 ・益市町は他市町と比較しても、すべての時間に専科教員や非常勤講師(町採用)、そしてALTを配置するなど充実している。これからも今の状態を継続してほしい。</p>	<p>・学校図書館の機能を十分活かし、児童生徒が読書に対して関心を高められるよう、学校司書と連携を取り、学校図書の充実に努めていく。</p> <p>・ALTについては、次年度も全ての授業での配置の予定である。ALTと外国語専科教員との連携を図り、授業の充実に努めていく。また、専科教員の研修などを通して、町としての指導の進め方を確認していく。</p> <p>・英検検定料補助については、引き続き学校を通して周知していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課				
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる	政策	豊かな人間性と健やかな体を備えた人財の育成				
施策	しなやかで豊かな心を持つ人財づくり	進捗状況	100%				
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	4教育				
KPI	月に3冊以上本を読む子供の割合	本年度目標値	70	現状値	68.7	%	
KPI		本年度目標値		現状値			
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月			②図書室イベント「SDGSキーホルダー」4/10 4人 ②移動図書館車お披露目会4/23 ②移動図書館運行打ち合わせ(各小中幼保)			
	5月	②読み聞かせ ②図書室イベント ②移動図書館の運行			②図書室イベント「ブースターUFO」5/8 6人 ②移動図書館運行について各小中幼保と打ち合わせ ②読み聞かせ(南公園)13人 ②移動図書館運行1回貸出12冊		
	6月			②図書室イベント「にじろかたつむり」6/12 5人 ②読み聞かせ(コッコハウス6/13 11人、北公園6/25 3人) ②移動図書館運行21回465冊			
	7月			②図書室イベント「ダンシング紙コップ」7/10 0人 ②読み聞かせ(コッコハウス7/9 6人、陶芸メッセ7/23 3人、お楽しみ会7/23 16人) ②移動図書館運行21回576冊			
	8月	②読み聞かせ ②図書室イベント ②移動図書館の運行			②図書室イベント「ぎょうにゅうパックのうちあげはなび」8/21 5人 ②読み聞かせ(陶芸メッセ8/27 4人)、こわいおはなし会8/4 22人 ②移動図書館運行14回347冊		
	9月			②図書室イベント「トイレットペーパーロケット」9/11 10人 ②読み聞かせ(コッコハウス9/10 14人、南公園9/24 人) ②移動図書館運行			
	10月			②図書室イベント「いたずらおかし」10/10 3人 ②読み聞かせ(コッコハウス10/8 12人、北公園10/22 14人) ②移動図書館運行20回499冊			
	11月	②読み聞かせ ②図書室イベント ②移動図書館の運行			②図書室イベント「ひらひらとんぼ」11/13 0人 ②読み聞かせ(コッコハウス11/12 0人、七井駅11/27 0人) ②移動図書館運行12回568冊		
	12月			②図書室イベント「ぎょうにゅうパックのミニツリー」12/11 0人 ②読み聞かせ(コッコハウス12/10 0人、七井駅12/24 0人、クリスマス会12/24 22人) ②移動図書館運行			
	1月	②読み聞かせ			②図書室イベント「ちゅうがえりうさぎ」1/15 0人 ②読み聞かせ(コッコハウス1/14 16人、益子駅1/28 0人)		
	2月	②図書室イベント ②移動図書館の運行			②図書室イベント「スノーボトル」2/12 0人		
	3月	②KPI(月に3冊以上本を読む子どもの割合)調査			②図書室イベント「おりがみのランドセル」3/12 0人 ②読み聞かせ(コッコハウス3/11 11人、益子駅3/25 0人) ②月に3冊以上本を読む子供の割合68.7%		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>②昨年度、宝くじ助成事業で整備した移動図書館車のお披露目会を開催。絵本作家いわむらかずおさんのおはなし会やバルーン教室等の子供向けイベントを開催。約100人の方が参加。移動図書館車の名称は、31人の公募の中から選考委員会を開き、「とっくん号」に決定。5月末より、町内幼稚園、保育園、小・中学校、道の駅、北公園等で約500～800冊の本を乗せ運行。図書室イベントについては、毎回参加者が少ないが図書室促進の一役を担っている。読み聞かせについては、南公園や北公園で開催。暑さが厳しくなってきたので場所の検討が必要。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>②毎月、図書室イベント、読み聞かせ等を行い、読書に触れ合う機会を作っている。移動図書館の運行も順調に進んでおり多くの本の貸出を行えた。今後も、感染対策を行いながら多くの方に本にふれあう機会を作っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>②新型コロナウイルス感染症の拡大の影響か、図書室イベント、読み聞かせの参加者が少ない。移動図書館の運行は順調に進んでおり多くの本の貸出を行えた。今後も、感染対策を行いながら多くの方に本にふれあう機会を作っていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②不読率は令和3年度の6.6%から令和4年度は5.3%となり1.3%減となった。中学生の月に1冊読んだと答えた人は令和3年度の22.2%から令和4年度29.1%と6.8%増と移動図書館等の施策の効果が表れていると考えられる。一方で、KPIの月に3冊以上本を読む子供の割合は68.7%で0.5%と増となっているが今年度目標の70%は未達成であった。読書率は増加しているが、KPI達成のためにはより多読に繋がる施策展開を模索する必要がある。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 なし</p>	<p>子どもたちの読書に対する意識が高まるよう、引き続き読み聞かせや図書室イベントの開催、移動図書館の運行を行う。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	学校教育課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる	政策	豊かな人間性と健やかな体を備えた人財の育成			
施策	健康でたくましい心身を育てる体制づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	体育施設利用者数(延べ人数)	本年度目標値	125,000	現状値	116,692	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	②体力向上のための教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②各中学校の運動部に中学校部活動外部指導者派遣事業・部活動顧問派遣事業を実施し、外部指導者・外部顧問を派遣。保険加入処理。 ②小中学校での体力づくりに必要な運動用具を整備 ②令和4年度新体力テストの実施 ②体力向上エキスパートティーチャー派遣事業	②各中学校へ外部指導者の推薦を依頼。申請書受理(4/8) ②町教育委員会にて外部指導者・部活動外部顧問の決定。各中学校へ派遣(4/20) ②外部指導者等のスポーツ安全保険加入処理(4/28) ②小中学校へ「体力アップ推進シートの活用について」等配布(4月随時)			
	5月	②小中学校での体力づくりに必要な運動用具を整備 ②令和4年度新体力テストの実施 ②体力向上エキスパートティーチャー派遣事業	②運動用具購入希望計画書の提出依頼(5/10) ②中学校へ「全国武道指導者研修会の開催等について」等配布(5月随時) ②体力向上エキスパートティーチャー派遣事業(益子小、七井小)			
	6月	②体力向上エキスパートティーチャー派遣事業	②小学校へ「総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業について」等配布(6月随時) ②中学校へ「全国空手道指導者研修会」等配布(6月随時)			
	7月	②体力向上のための教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者へのスポーツ指導者育成教室開催案内 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第1期分)の実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ②小中学校での体力づくりに必要な運動用具を整備 ②令和4年度新体力テストの結果による現状値把握 ②全国大会出場時は懸垂幕作成 ②体力向上エキスパートティーチャー派遣事業	②益子西小・七井小より運動用具購入希望計画書受理・購入(7/25) ②益子中・七井中より運動用具購入希望計画書受理・購入 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第1期分)実績報告書提出依頼(7/7) ②中学校・外部顧問へ令和4年度運動部活動指導者研修会開催通知送付(7/27) ②小学校へ「とちぎ未来アスリートプロジェクト」募集用リーフレット等配布(7月随時) ②中学校へ「全国武道指導者研修会開催要項」等配布(7月随時) ②町教育委員会にて中学校運動部活動外部指導者(追加申請分)の決定。各中学校へ派遣(7/26)			
	8月	②小中学校での体力づくりに必要な運動用具を整備 ②令和4年度新体力テストの結果による現状値把握 ②全国大会出場時は懸垂幕作成 ②体力向上エキスパートティーチャー派遣事業	②外部指導者等のスポーツ安全保険加入処理(8/1) ②田野小・益子小・田野中より運動用具購入希望計画書受理・購入(8/1) ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第1期分)謝金支払処理(8/9) ②中学校外部顧問へ令和4年度運動部活動指導者研修会開催方式の変更について送付(8/24)			
	9月		②令和4年度新体力テスト『S認定証』交付(小学校12名、中学校4名) ②中学校へ「全国銃剣道指導者研修会開催要項」等配布(9月随時)			
	10月		②小中学校へ「スポーツ庁委託事業『学校における体育活動での事故防止対策推進事業』におけるセミナーの開催について」等配布(10月随時) ②小学校へ「令和4年度チャレンジランキング実施要綱【後期】」配布、中学校へ「女性アスリートコンディショニング研修会の開催について」等配布(10月随時)			
	11月	②体力向上のための教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第2期分)の実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ②全国大会出場時は懸垂幕作成	②小中学校へ「教員のための『ベースボール型』授業研究会ご案内について」、中学校へ「第11回全国弓道指導者研修会開催要項」等配布(11月随時) ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第2期分)実績報告書提出依頼(11/25) ②中学校外部顧問へ令和4年度運動部活動指導者研修会(動画視聴会)の開催について送付(11/28)			
	12月		②小中学校へ「第4回学校レクリエーション講習会の開催について」等配布(12月随時) ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第2期分)謝金支払処理(12/15) ②令和4年度運動部活動指導者研修会(動画視聴会)開催(12/23)			
	1月		②小中学校へ「積雪期登山基礎講習会の開催について」、中学校へ「学校相撲実技指導者講習会開催通知」等配布(1月随時)			
	2月	②体力向上のための教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者・部活動顧問の源泉徴収票作成処理 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第3期分)の実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ②全国大会出場時は懸垂幕作成	②小中学校へ「『学校における水難事故防止対策の強化』～実践研究報告会開催通知」等配布(2月随時)			
	3月	②全国大会出場時は懸垂幕作成	③中学校運動部活動外部指導者派遣事業の(第3期分)実績報告書提出依頼(3/6) ③各中学校へ「令和5年度益子町立中学校運動部活動外部指導者派遣事業」の派遣申請書提出依頼(3/22) ③中学校運動部活動外部指導者派遣事業(第3期分)の謝金支払処理(3/31)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>②19運動部中、現在9運動部にて、中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施。 部活動顧問派遣事業は4名(田野中ソフトテニス部、益子中卓球部・バドミントン部、七井中サッカー部)を派遣している。 中学校運動部活動外部指導者未派遣の運動部については、学校から希望がある場合には、随時派遣受付を実施する。</p> <p>②令和4年度栃木県児童生徒の体力・運動能力調査については、4月～7月の期間で実施予定。 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を十分に講じた上で実施できるよう、支援する。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>②4月～7月に実施予定だった、令和4年度栃木県児童生徒の体力・運動能力調査は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を十分に講じた上で実施することができた。</p> <p>②中学校運動部外部指導者派遣事業について、各中学校から追加の申請があり、田野中野球部、益子中女子ソフトテニス部、七井中バレーボール部へ外部指導者を派遣した。</p> <p>②各小中学校から要望のあった運動用具が納品になり、活用が開始された。これらは、小中学校での体力づくりに必要な運動用具が対象となっている。新しく整備された運動用具を活用し、児童生徒の体力の向上を図りたい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>②体力向上のための教室や指導者育成教室の開催・案内通知が、定期的に教育委員会宛に届くので、引き続き小中学校や外部指導者等へ周知・案内を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②体力向上のための教室や指導者育成教室の開催・案内通知が、定期的に教育委員会宛に届くので、引き続き小中学校や外部指導者等へ周知・案内を行っていく。</p> <p>③外部指導者派遣事業(第3期分)については、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、計画的に実施することができた。次年度も外部指導者の派遣により、部活動等の活性化と生徒個人の技能の向上が図られるよう、支援していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aそのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 〈体力向上・体力づくりについて〉 ・新体力テストの結果を有効に活用して、実態に即した体力向上策を今後継続して取り組めるよう、町では教材・教具はもとより、各学校での情報交換の場の設定など、継続して支援してほしい。</p> <p>〈中学校部活動外部指導者派遣事業について〉 ・指導を受ける側の生徒にプラス効果が出るような指導体制を、学校と連携して構築してほしい。</p>	<p>・各小中学校での体力づくりに必要な運動用具の購入については、次年度も実施予定である。今後は、各学校での情報交換ができるよう働きかけをしていきたい。</p> <p>・中学校部活動の外部指導者の派遣については、次年度も継続予定である。生徒が外部指導者による専門的な指導を受けられるよう、各中学校と連携していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる	政策	豊かな人間性と健やかな体を備えた人材の育成			
施策	健康でたくましい心身を育てる体制づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	体育施設利用者数(延べ人数)	本年度目標値	125,000	現状値	116,692	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月			①トレーニング室使用者講習会4/14実施11名参加 業者による施設修繕2件 ①②4月上お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集		
	5月	①スポーツに親しむことができる環境や機会の充実、健康・体力づくりの習慣化を図る。 ②スポーツ団体・指導者等への支援を行い、子供たちの体力向上を図る。		①トレーニング室使用者講習会5/10実施10名参加 トライانسクール5/14～参加者約60名。業者による施設修繕4件 ②町スポーツ少年団(15団体)へ指導者講習会の案内。5/29卓球トーク・交流会(水谷準)開催 ①②5月上下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募		
	6月			①トレーニング室使用者講習会6/16実施17名参加。益子町民デー(7/30)の現地確認6/26実施。業者による施設修繕1件 ①②6月下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集。		
	7月			①トレーニング室使用者講習会7/5,21実施6名参加 業者による施設修繕8件。町民センタープール(7/21～8/24)一般開放35日間1,460名来場。①②7月下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集 7/27塩谷地区スポーツ協会視察		
	8月	①スポーツに親しむことができる環境や機会の充実、健康・体力づくりの習慣化を図る。 ②スポーツ団体・指導者等への支援を行い、子供たちの体力向上を図る。		①トレーニング室使用者講習会8/19実施21名参加 業者による施設修繕2件①②8月上下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集 8/4那須地区スポーツ協会視察		
	9月			①トレーニング室使用者講習会9/8,27実施21名参加 業者による施設修繕1件 ①②9月上下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集。9/22、29郡市民体育祭について各市町との打合せ		
	10月			①トレーニング室使用者講習会10/22実施21名参加 業者による施設修繕2件。①②10月上下お知らせ版にて、スポーツ少年団団員募集。国体(サッカー10/2、3、野球10/7、8)開催		
	11月	①スポーツに親しむことができる環境や機会の充実、健康・体力づくりの習慣化を図る。 ②スポーツ団体・指導者等への支援を行い、子供たちの体力向上を図る。		①トレーニング室使用者講習会11/4,30実施10名参加 業者による施設修繕3件①②11月下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集、野球教室について周知		
	12月			①トレーニング室使用者講習会12/23実施17名参加。 芳賀地区スポーツ推進委員会実技交流会12/17開催45名参加。 業者による施設修繕5件 ②少年スポーツ教室(野球)12/4開催①②郡市民スポーツ交流会専門部長会議12/16開催		
	1月			①トレーニング室使用者講習会1/12実施14名参加。郡市町駅伝競走大会に芳賀郡チーム参加1/29。業者による施設修繕4件①②社会体育事務担当者会議(臨時)開催1/20。		
	2月	①スポーツに親しむことができる環境や機会の充実、健康・体力づくりの習慣化を図る。 ②スポーツ団体・指導者等への支援を行い、子供たちの体力向上を図る。		①トレーニング室使用者講習会2/3実施18名参加。 業者による施設修繕2件 ②少年スポーツ教室(バドミントン2/23・ソフトテニス2/25)開催。①②2月下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集		
	3月			①トレーニング室使用者講習会3/7実施22名参加。 ②益子剣道大会3/5、サッカー教室3/18開催。 ①②3上下お知らせ版にて、チャレンジクラブ会員募集		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①9/11開催予定の芳賀郡市民体育祭、芳賀地区スポーツレクリエーション祭、12/18開催予定のはが路ふれあいマラソンが栃木国体開催関連、新型コロナ関係で中止決定となった。町民センタープールは7/21から開設するので新型コロナ対策を考慮しながら修繕や運営を含めて準備を進めている。今後もスポーツ行事が予定されているので、新型コロナ感染対策を考慮して開催方法の検討を進めていく必要がある。</p> <p>施設利用について、7月からは夏休み期間に入るため、他県からの合宿や町内団体の平日日中の利用が増える傾向があるため、感染症対策を考慮しながら施設使用の予約調整をしていきたい。</p> <p>①②チャレンジクラブ運営委員会等に参加し、運営や事業の検討を行っている。6/22時点で328名の加入であり、前年度の6月(377名)と比べて、減少傾向にあるため、さらなる広報活動を進める必要がある。郡市民体育祭は3年連続で中止となり、来年度、開催時にスムーズに進められるよう関係市町と情報等を共有し今ある課題を検討する必要がある。</p> <p>町民デー(7/30)開催に向けて、参加者募集と当日運営の準備を進める。2年連続で中止となった町駅伝競走大会(11/13)のコース確認や中継所の設置箇所を確認して大会開催に向けて準備を進める。</p> <p>広報まじこ7月号から町内体育施設および、8月号スポーツ団体の紹介を特集していく。</p> <p>第1四半期の体育施設利用者数は、概ね26千名。 前年度の同時期と比べて減少気味である。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①3年連続で町駅伝競走大会(11/13)は中止となった。次年度開催にむけて、コースの見直しを含め検討をする必要がある。町民センタープール一般開放を2年ぶりに再開でき、無事に事故無く期間を終えることができた。</p> <p>プール施設修繕や運営方法に課題があるので、今年度に対応できるものは進めて行きたい。南運動公園及び北公園の遊具保守点検委託実施により、不具合箇所を今後修繕を進めていく。広報まじこ7月号から「はじめよう、楽しくスポーツ！」コーナーを設けて、体育施設の紹介を始めた。この記事をみて、トレーニング利用者講習会に参加する方がいたので、効果があったと思う。興味をもてる記事になるよう写真を取り入れて掲載していきたい。また、おなじく広報誌に「キラキラ☆キッズ」コーナーを設け、町内で活動しているスポーツ少年団等の団体活動紹介を記載。今後も掲載を続けていく。郡市民体育祭について、県内の2地区のスポーツ協会へ行き活動内容等を視察してきた。その結果を踏まえて、次年度の郡市民体育祭について見直しを進める。①②チャレンジクラブ運営委員会等に参加し、運営や事業の検討を行っている。9/30時点で351名の加入であり、前年度の9月(413名)と比べて、減少傾向にあるため、継続して広報活動が必要である。少年スポーツ教室について、野球教室を12/4開催予定で準備開始。講師は栃木ゴールデンプレースの川崎宗則選手と他若手10名で調整に入った。子ども達が喜べるような教室になる様に教室内容を検討していく。併せて、他種目についても検討を始める。第2四半期までの体育施設利用者数は、概ね63千名。前年度の同時期と比べて増加気味である。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①②来年度の芳賀郡市スポーツ交流大会(旧 郡市民体育祭)開催に向けて、「より良い大会」を目指すため、関係者へ打ち合わせや説明会を開催したが、さらに協力と理解を深める必要がある。</p> <p>①②芳賀地区スポーツ推進委員会実技交流会(グラウンドゴルフ)は初めてのイベントであり、益子町が事務局として開催した。大好評のため、毎年の恒例行事としたいとの意見があるので、今後、どのように進めるべきか検討する。</p> <p>①②12/4野球教室では、例年の講師ではなく、新たな講師と内容で開催した。参加者や指導者からのアンケート調査では参加者の94%が満足したと回答があった。</p> <p>①②チャレンジクラブ運営委員会等に参加し、運営や事業の検討を行っている。12/22時点で377名の加入であり、前年度の12月(435名)と比べて、減少傾向にあるため、継続して広報活動が必要である。</p> <p>①総合体育館等のLED照明リースに向けて、契約が済み、工事の現場確認などが進み始めたので、施設予約者との調整が必要である。</p> <p>第3四半期までの体育施設利用者数は、概ね90千名。前年度の同時期と比べて増加気味である。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①②来年度の芳賀郡市スポーツ交流大会について「より良い大会」を目指すため、臨時で社会体育事務担当者会議を開催し、大会内容や準備の進め方について共通理解をした。各競技種目から、開催日、場所について決まりつつある。未確定の競技種目団体について、連絡調整をしていきたい。スポーツ教室は4種目を開催することができた。バドミントン、ソフトテニス教室では、一流の選手と対戦することもでき、参加者はトップレベルの凄さを見ることができた。サッカー教室では雨天のため、初めて体育館での実施となった。小学生と中学生を分けて二部制で開催することで、中身の濃い教室となった。次年度も講師選定や開催時期を検討をし、今年度と違う種目で開催する予定である。12/4に開催した野球教室の講師、川崎宗則選手は今回WBCの解説者としてテレビに出演しており、一流の講師を招くことができ、次年度、他種目においても一流の選手を講師として招きたい。参加者等のアンケート調査による満足度は、バドミントン88%、ソフトテニス95%、サッカー96%が満足したと回答があった。①②チャレンジクラブ運営委員会等に参加し、運営や事業の検討を行っている。3/28時点で384名の加入であり、前年度の3月(439名)と比べて、減少傾向にあるため、継続して広報活動が必要である。</p> <p>①総合体育館、グラウンド等のLED照明化完了。次年度以降の工事施設等について調整を進めることになる。</p> <p>第4四半期までの体育施設利用者数は、概ね114千名。コロナ禍以前(R1:123千人)の人数と比べて戻りつつある。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 〈トレーニング室の利用等について〉 ・コロナ禍で、利用者数にも影響があったようだが、広報、お知らせ版など既存の広報手段に併せて活用できる町のホームページなどでも利用法だけでなく、施設内容や利用者の声なども紹介できると良いのではないかと。</p> <p>〈チャレンジクラブについて〉 ・コロナ感染を心配して、活用を自粛していた人も多いと思う。それぞれのクラブでの活動の充実と共に、入会の案内や活動の様子などを、町民に広く知ってもらうように広報活動も継続してすすめてほしい。</p> <p>〈スポーツ少年団の支援とスポーツ教室開催について〉 ・少子化で各団体とも、運営は大変だと思われる。町としては、引き続き支援体制を整えていただきたいと思う。 ・スポーツ教室の良いところは、メディアを通じて知っている、聞いたことのあるその道の「プロ」が目の前で指導・助言してくれることだと思う。一流選手の招聘は大変だと思うが、前向きに取り組んでほしいと思う。</p>	<p>〈トレーニング室の利用等について〉 ・毎月、トレーニング講習会を開催し多くの方に受講いただき、コロナ前に近い利用者が戻りつつある。また、広報等でトレーニング室の広報はしているが、今後は施設内容や利用者の声なども紹介していく。また、更新時期等に合わせ新しい器具の導入を検討し、魅力ある施設を目指し利用者の増を図っていきたい。</p> <p>〈チャレンジクラブについて〉 コロナ以降会員数が減っているが、それぞれのクラブでの活動の充実と共に、入会の案内や活動の様子などを、町民に広く知ってもらうように広報活動も継続する。</p> <p>〈スポーツ少年団の支援とスポーツ教室開催について〉 ・各団体の運営について、こまめに各団体と連絡調整をとり、引き続き支援を行っていく。 ・スポーツ教室は令和5年度は4種目を予定しており、オリンピック選手をはじめ、国内の一流選手を招聘しスポーツ教室を開催する。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる		政策	自ら地域づくりに参画できる人財の育成		
施策	地域協働による教育体制づくり		進捗状況	100%		
関連する優先目標	—		関連するSDGs	17パートナースhip		
KPI	コミュニティスクール設置学校数		本年度目標値	4	現状値	1 校
KPI			本年度目標値		現状値	
KPI			本年度目標値		現状値	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		①学校運営協議会の説明(校長会)4/19 ①田野小学校運営協議会役員会4/26			
	5月	①学校運営協議会の説明(校長会) ①田野小学校運営協議会	①学校運営協議会打ち合わせ(田野中)5/12			
	6月		①田野小学校運営協議会6/10 ①学校運営協議会打ち合わせ(七井中6/22、七井小6/29)			
	7月		①田野小学校運営協議会7/22(中止)			
	8月	①田野小学校運営協議会 ①コミュニティ・スクール研修会	①コミュニティ・スクール研修会8/30 21人			
	9月		未実施			
	10月		未実施			
	11月	①田野小学校運営協議会	①田野小学校運営協議会11/16(中止) ①田野中学校学校運営協議会設立準備会議11/30			
	12月		未実施			
	1月		未実施			
	2月	①田野小学校運営協議会 ①コミュニティ・スクール研修会	①田野小学校運営協議会2/15 ①コミュニティ・スクール研修会2/21 ①田野小学校運営協議会2/28			
	3月		田野中、益子中、七井中から令和5年度学校運営協議会委員の推薦書提出あり			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①田野小学校運営協議会は、今年度で3年目を迎え、4月26日に会長、副会長と振り返りを行った。新型コロナウイルス感染症の影響で中止になることはあったが、「地域とともにある学校」が少しずつ地域に浸透してきている。他校についても、打ち合わせや研修会等を行い令和7年度までに町内小中学校全校で導入を目指していく。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響で7月22日の田野小学校運営協議会が中止となった。学校運営協議会(コミュニティ・スクール)について、各校の理解を図るため、小中学校の先生を対象に研修会を行った。学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の取り組みを理解してもらうのが課題のため、引き続き研修会を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響で11月16日の田野小学校運営協議会が中止となった。田野中学校については、来年度導入に向けて、学校、地元の方と準備会議を開催した。未導入校についても、打ち合わせ等を行い準備を進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 (第 4 四 半 期 含)</p>	<p>①2月15日及び2月18日に田野小学校運営協議会を行った。内容は、授業参観及び今年度活動の振り返り、学校評価について、令和5年度協議会委員の人選について話し合った。また、2月21日にコミュニティ研修会を行い、主に保護者、地域の方を対象に30名が参加した。来年度からの実施に向けて田野中、益子中、七井中から運営協議会委員名簿の提出があった。令和5年度は4校で実施する予定である。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 〈学校運営協議会について〉 ・田野小学校の事例を各学校と情報共有したり、町主催の研修会を引き続き開催するなどして、地域にも広く知ってもらうことが必要と考える。 ・今後町内の小中学校で協議会の立ち上げを順次実施する方向のようだが、わかりにくさを解消していくことが、今後の課題ではないか。</p>	<p>すでに実施している田野小学校や令和5年度から実施する3中学校については、情報共有や連携を図るとともに、地域住民や町民に広く事業内容を知ってもらえるよう周知活動を行う。また、今後導入を予定している3小学校に対しては、地域住民や教職員の理解が高まるよう引き続き研修会等を開催する。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R4(2022)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	3 社会的に自立した人を育てる		政策	自ら地域づくりに参画できる人財の育成		
施策	地域社会に参画する人財づくり		進捗状況	100%		
関連する優先目標	—		関連するSDGs	17パートナースhip		
KPI	地域活動やまちづくりへの参加意識がある人の割合	本年度目標値	56.5	現状値	64.5	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月		③ましこ未来大学打ち合わせ4/21 ③ましこ未来大学開講式4/27			
	5月	②ジュニアリーダーズクラブ(JLC)の活動 ③ましこ未来大学の開講	③ましこ未来大学5/18 ③ジュニアリーダーズクラブ研修会5/8 2人			
	6月		③ましこ未来大学打ち合わせ6/24 ③ましこ未来大学6/1,8,22 ②ジュニアリーダーズクラブ・ユースリーダーズクラブ合同打ち合わせ6/4 7人 ③ジュニアリーダーズクラブ研修会5/8 1人			
	7月		③ましこ未来大学7/13、7/26、27,28,29			
	647	②ジュニアリーダーズクラブの活動 ③ましこ未来大学の開講	②ましこいきいきトライやるスクール(特別編)ゆるえんす 8/5 10人 ②国体炬火イベント8/11 4人 ②ましこいきいきトライやるスクール(第2回)魚のつかみ取りをしてみよう 8/27 6人			
	9月		③ましこ未来大学9/14,21			
	10月		②ジュニアリーダーズクラブ定例会10/29 5人 ③ましこ未来大学10/12			
	11月	②ジュニアリーダーズクラブの活動 ③ましこ未来大学の開講	③ましこ未来大学11/2(中止).9			
	12月		②ジュニアリーダーズクラブ定例会12/3 3人 ②花フェスタ参加(スタンドグラス風しおりづくり)12/10 5人 ②ましこいきいきトライやるスクール(第4回)英語でクリスマス会12/17 ③ましこ未来大学アクションプラン発表及び閉講式12/10			
	1月		未実施			
	2月	②ジュニアリーダーズクラブの活動 ジュニアリーダーズクラブの勧誘(チラシ配布)	②ジュニアリーダーズクラブ、ユースリーダーズクラブ合同定例会2/4 3人 ②郡ジュニアリーダーズクラブ研修2/5 2人			
	3月		②ましこいきいきトライやるスクール(第5回)まちなかウォークラリー3/4 3人 ②ジュニアリーダーズクラブ交流会3/29 3人			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>③将来の担い手を育成する事業を益子芳星高校で開催。町内在住の生徒が少ない。(39名中5名) ②ジュニアリーダースクラブの現在の会員が少ない(6人)ため、PRを行う。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>③ましこ未来大学は県外研修など順調に進んでいる。アクションプラン作成が始まり、町民大学卒業生にサポーターとして参加していただいている。③ジュニアリーダーズについては、会員が8人に増えたが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されてある。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>③12月10日の町民のつどい時にましこ未来大学発表会及び閉講式を行った。7つのアクションプランを作成し、クリスマスリース作りなど実践も行った。 ②花フェスタ時に、自分たちで企画したステンドグラス風しおりづくりを子どもを対象に行い好評であった。また、トライやるスクールに積極的に協力している。</p>
<p>総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②3月4日のトライやるスクールでは、ジュニアリーダーによるレクリエーションを実施するほか、ウォークラリーのルール作りなどに積極的に参画した。トライやるスクールが土曜日開講のため、高校の事業(模試等)と重なってしまうため、開催日の設定を見直す必要がある。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続 ○ B改善・見直し C廃止・終了</p> <p>①意見・提言 〈ジュニアリーダースクラブ〉 ・現実的な言い方をすると「ガクチカ」にもつながる活動なので、PRにもそのあたりを含めてみてはどうか(すでにやっているかもしれないが)</p> <p>〈ましこ未来大学について〉 ・高校の「総合的な探究の時間」がうまく活用された事業である。高校生目線で考えたまちづくりは参考になる。高校生が学校以外の大人や子どもと関り、地域と関わるよい機会だと思う。単なる「提案」に終わらず「行動」につながるよう支援を継続して進めてほしい。</p>	<p>ジュニアリーダーについては、芳賀教育事務所や郡内市町と連携し広域的なPRを行うとともに、活動を通して得られるメリットなどを分かりやすく伝え会員の確保に努める。ましこ未来大学については、高校生が提案したことが行動や実践につながる仕組みづくりや支援策等を検討する。</p>